



そこで クラゲは
いそいで ともだちをおいかけて
ほとんどは みぎにまがることを
ひだりに ながされてしまいました。
(ふんとうまき まきのぶくえいかき けいこ)

クラゲは ともだちと
なにをしてあそぼうか かんがえながら
ゆらゆらと なみにゆらゆらと
いつのまにか ほつきまぐまぐとやってきて
あつとつちに コーロツバをとりすきて
ついに アフリカをまわって
とつとつち ちきゅうをいっしゅうして
ともだちのいえへ たどりつきました。
すると ともだちのおかあさんがでてきて
「いそいで あそびにでかけたのよ」

ながされた クラゲ
クラゲが ともだちのいえへ
あそびにでかけた。
ほとんどは みぎにまがれば すぐなのですが
しおのながれが ほんたいたつたので
クラゲは ひだりに
どんとどんと ながされていきました。
「そのうちついで」

きょうも ちゃがちゃが うみのなか ③

〈なんだろう?〉 〈なぜかな?〉

《科学》の出発点

身の回りの“不思議”から“科学遊び”へ

φιλοσοφία (フィロソフィア) — 古典ギリシャ語では《科学》はこう呼ばれ、“知を愛す”という意味でした。〈なんだろう?〉〈なぜかな?〉と“不思議”に感じたことを探究し、それが分かることの喜びが《フィロソフィア=科学》だったのです。“不思議”とを感じる心は《科学》の原点なのです。
今、子どもたちの科学離れが進んでいると言われています。便利な

□便利な道具があふれています□

私たちの身の回りには、スイッチ1つでいろいろなことができる便利な道具があふれています。携帯電話、コンピューター、デジタルカメラ、携帯ミュージックプレーヤーなど……。こうした道具を使いこなすことはできても、複雑な機械になればなるほど、なかがどうなっているのか、どういう仕組みでできているのかなどを理解することは難しくなっています。
仕組みが分からなくても、使いこなせるので「どうしてこうなるんだろう?」と疑問を持つこともなく、道具を使い続けています。仕組みを知らなくても使い方には困らないことが、〈なんだろう?〉〈なぜかな?〉と“不思議”に思う心が育ちにくくなってしまった原因の1つと言えるのかもしれない。

□身の回りには“科学”がいっぱい□

私たちの身の回りや遊びの中には、〈なんだろう?〉〈なぜかな?〉と感じる素材がたくさんあります。寒い日によく使う使い捨てカイロは、なぜ火を使わなくても温くなるのだろうか? 糸電話はどうして遠くの人に声が伝わるのだろうか? ブーメランはなぜ投げたところにもどってくるのだろうか? やじろべえはなぜたおれないでバランスをとっているのだろうか? 緑日で売っているふき玉の玉はなぜ浮かんでいるのか? ポンポン船はモーターがなくてもなぜ前に進むことができるのか? ……身の回りにも、“不思議”がいっぱいあります。
これらの“不思議”の多くは、“科学”で説明することができます。



生活になれて、身の回りにあるもの不思議 — 〈なんだろう?〉〈なぜかな?〉と感じる心が弱くなってしまったのかもしれない。今月号では、身の回りにある“も”の“やしみやすい”“遊び”をとおして、子どもたちに〈なんだろう?〉〈なぜかな?〉を感じ、そして考えてもらうことをねらいに、プレイホールで定期的に行われている科学遊びのプログラム「小学生ラボラトリー」を紹介します。

しかし、現代の子どもたちは〈なんだろう?〉〈なぜかな?〉と“不思議”に思うこともなく過ごしていることが多いのです。
[こどもの城]の「小学生ラボラトリー」は、遊びをとおして、身の回りにある“不思議”に〈なんだろう?〉〈なぜかな?〉を感じて、その“不思議”を考えようとする心を育てたいと思っています。



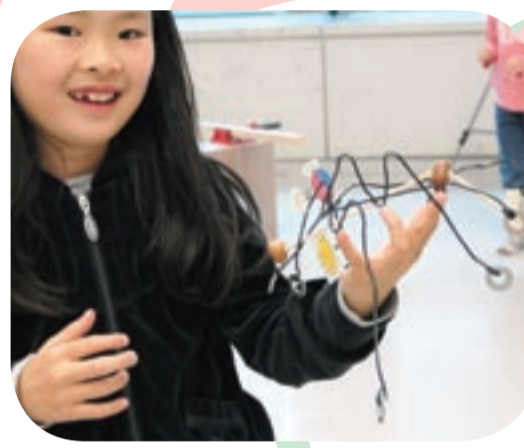
□“不思議”に気づく〈しかけ〉用意□

使い捨てカイロのなかには、鉄の粉が入っています。鉄を濡れたままにしておくとさびが出ます。これは鉄の酸化 — 空気中の酸素や水分と反応して酸化鉄(水酸化第二鉄)になる化学反応です。
化学反応が起こるときに出る熱を利用したものが、使い捨てカイロなのです。「あったかいぞ! カイロを作ろう」のプログラムでは、鉄粉と食塩水、食塩水を含ませておく木粉を自分たちで調合して、破れにくい和紙の封筒に入れてカイロを作ります。
鉄粉や食塩水などの調合の比率や作り方のちがいによって、早く温かくなったり、高い温度になったりします。材料の比率で変わるといふことに、子どもたちはなかなか気づきません。そこで、ちょっとした〈しかけ〉をします。目につく所に温度計を置いておくのです。気づいた子どもが温度を測り始めます。「40度突破!」などの声を聞いて、ほかの子どもも温度を測り始めます。やがて温度比べが始って、カイロごとに温度のちがいがあることに気づきます。

スタッフが鉄粉と食塩水の比率の話をして、「比率を変えてもう一つ作っていいよ」と声をかけます。たったそれだけの〈しかけ〉でも、「こうしたらどうなるかな?」という疑問と知への探求が始まります。

□夏休みは“科学”にふれるチャンス□

夏休みは子どもたちも忙しい学校生活からはなれ、ゆったりと身の回りのことに目を向けることができるシーズンです。夏はなぜ暑いんだろう? 海のなかではなぜ浮かびやすいんだろう? 入道雲はどうして夏に発生しやすいんだろう? など、身近な“不思議”に目を向け、〈これはなんだろう?〉〈どうしてこうなるんだろう?〉という疑問を持つ絶好の機会です。
身の回りのちょっとした“不思議”を感じる心、それは知を探究する旅への出発点です。知を探究し、新しい発見やおどろきに会った喜びは言葉では言い表すことのできないうれしさに満ちています。それが“知を愛す”《フィロソフィア=科学》の原点だと言えるのかもしれない。



**夏にチャレンジ!
あそんでチャレンジ!**
こどもの城

2011 夏休み特別期間
7月16日(土)～8月31日(木)

開館時間 10:00～17:30
入館料 小学生以上 400円
小学生未満 200円
おとな 500円

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
☎03-3797-5674

小学生以上を対象とした映像や科学をテーマにしたプログラム、「小学生ラボ」が8月27～31日に、プレイホールで行われます。「かざぐるま」「日光写真にチャレンジ」「すすめ! ポンポン船」「色のふしぎ」「浮沈しをつくろう」など、日替わりで1日2プログラム。

ビデオライブラリーでは、7月16日～8月18日は「月・星の科学」を特集。人工的に作った月の土「シミュラント」や「月太陽発電 LUNA ミラクルライブラリー②曜日 de サイエンス RING」の展示(協力:清水建設技術研究所)、月や星・星座についてのクイズラリーも実施。8月20～31日は「金属と建物の科学」を特集。

小学生以上を対象とした映像や科学をテーマにしたプログラム、「小学生ラボ」が8月27～31日に、プレイホールで行われます。「かざぐるま」「日光写真にチャレンジ」「すすめ! ポンポン船」「色のふしぎ」「浮沈しをつくろう」など、日替わりで1日2プログラム。

夢をかたちに。

私たちはいつだって、未来に向かってすすんでいます。
だからいま、未来に向けてつづいています。
自由と安心に満ちた ICT サービスと、心をつなげるネットワーク。
そして、美しい地球を守っていく仕組み。すべての夢を、かたちにするために。
富士通は、挑みつづけます。

夢をかたちに

shaping tomorrow with you



「ねだん」を決める (関屋さん)



(銀行) でスタンプカードを発行



「とり+かえっこ」の主会場

子どもたちが力をあわせ「とり+かえっこ」開く

使わなくなったおもちゃの交換を中心とした“子どものまち”の「とり+かえっこ」が6月18・19日にフリーホールほかで開かれました。運営は、公募で集まった実行委員会の子どもたち。

遊びに来た子どもたちは、実行委員が考えたゲームに参加したり、“まち”の仕事を手伝って(カエルポイント)を手に入れて、ほしいおもちゃと交換していました。



「これは!」というものは(オークション)に



ゲームコーナー「スポンジボールシューター」



ゲームコーナー「おとさずいけるかな?」

高校生ボランティア L.I.T. が企画・運営 あそ VIVA ☆ワールドフェスティバル

8月27・28日に屋上ふしぎが丘ネット広場

高校生世代の L.I.T. (Leader In Training) のメンバーが企画・運営する遊びのプログラム「あそ VIVA ☆ワールドフェスティバル」が、8月27・28日(11時～16時)に屋上ふしぎが丘のネット広場で開かれます。

ム共和国”——は、25年ごとに海の上に浮かびあがる謎の島々。「なかよし協定」を結び、25年ごとに

盛大なお祭りを開くことになっています。

今日は、待ちに待ったお祭りの日。4つの島々の住人と一緒に、いろいろな“ゲーム”や“クラブ”など、おもいきり祭りを楽しんでください。

子どものあそびをサポートする高校生世代のボランティア

9月からスタートする L.I.T. の新メンバー募集

L.I.T. (Leader In Training) は、高校生世代の社会参加活動プログラム。[こどもの城] の中で、〈あそび〉をとおして子どもとふれあうボランティア活動をしています。9月から始まる平成23年度のメンバーを募集します。活動は来年8月までの1年間。対象は平成6年4月2日～平成8年4月1日生まれで、子どもを対象としたボラ

ンティア活動に興味を持ち、将来的にボランティア活動をしてみたいと思っている人。参加を希望する人は、保護者に参加の意思を伝えて了解を得てから、本人が直接電話で申し込んでください。定員は30人。8月1日から先着順に受け付け。年会費は10,000円。お申込み・お問い合わせは、事業企画部研修課(03-3797-5675)へ。

ふねはずごい! 8月31日までギャラリーで開催中

タンカー・コンテナ船——船の模型がいっぱい

資源に乏しい日本は、燃料や化学製品の原料となる石油をはじめとして、小麦や大豆などの食糧や電化製品など——生活にかかわる多くのものを、海外からの輸入に頼っています。そして、日本で作ったものを輸出しています。

長さ2.5mを超えるコンテナ船の大型模型(1/100のスケール。実物は250m以上ということになる)をはじめ、タンカーやクルージングを楽しむ大型客船などを模型やパネルで紹介。船のクイズやパイプを使った伝声管(船などの騒音のはげしい所で話し声を伝える装置)など、楽しみながら船や海の知識が得られる展示がいっぱい。

四方を海に囲まれた日本は、海をとおして世界とつながっています。海は、人と人をつなぎ、いろいろな“もの”を運ぶための大切な道です。人を運ぶ客船、石油などを運ぶタンカー、食料品や日用品、電化製品などを運ぶコンテナ船などが活躍しています。

協力: 日本郵船(株)/後援: 財団子ども未来財団。

この夏 [こどもの城] に〈オバケ屋敷〉が登場!

「きょうふ!? オバケ屋敷」が、8月20～28日の9日間にわたって、フリーホールで行われます。

8月のこどもの城
開館時間
夏休み特別期間 10時～17時30分
※毎日開館します。
9月1・2・5・6日は休館します。
電話: 03-3797-5666
http://www.kodomonono-shiro.jp

て、フリーホールで行われます。企画・運営は [こどもの城] のスタッフとボランティア。

6月に行われた「こどもの城児童厚生員等実技指導講習会〜オバケやしきを10倍楽しくする方法」で学んだことを生かして、[こどもの城] ならではの〈オバケ屋敷〉をめざします。恐怖のように本能的な感情を感じる脳の仕組みは、多くの動物に備わっている、生き延びるための大切な脳の機能。その仕組みを利用して、ドキッとするような“怖いかけ”を考えています。どんな〈オバケ屋敷〉になるかはお楽しみ。暑さをふきとばす、怖さを味わいにきてください。

8月25日にバンパー大会
参加エントリー受付中
(小4～高3)
第48回バンパー大会が8月25日に、プレイホールで開催されます。小学生の部(小4～6)は10時30分～12時30分、中学生の部(中1～高3)は14時～16時。

年齢別に2部に分かれてゲームを行います。参加資格は、それぞれの学年に相当する年齢の人で、プレイホールの小中学生コーナーにある〈バンパー〉で遊んだことがある人。先着順にエントリー受け付け。お問い合わせは、プレイ事業部【03-3797-5661】へ。

わくドキキャンペーン

キャンペーン期間中(7月9日～8月31日)、何回でも使えるお得な“優待パス”——ドキドキパス(子ども用)1,500円、わくわくパス(大人用)1,800円。期間中5月9日～8月31日、何回利用ごとに、プール利用券1枚をプレゼントします。好評発売中。

33人が参加して「第3回乳幼児期からの健康づくり」

「食」から「健康」について考える

保育所、子育て支援センター、児童館などで子どもにかかわる人を対象に、医学・栄養・運動の3つの視点から〈食育〉について考える「第3回乳幼児期からの健康づくり〜医学・栄養・運動の3点から〜」が、7月8日に行われました。

運動遊びを実際に体育室で体験しました。

医学の視点からは、子どもが健全に成長し、発達することを指導・支援するためには、身長や体重を測り、成長曲線のグラフに沿っているかどうかを観察することが重要であること、さらに夜型の生活リズムが朝食欠食の原因となり、ブドウ糖が不足してイライラしたり、脳を養うために筋肉の栄養分が使われることになり、運動能力の低下などの悪影響がでてくると分かりやすき説明。

があり、受講生も真剣に聞き入っていました。

“0.1.2 歳児”の心と体の健康テーマに講習会開く

保育所、子育て支援センター、児童館などで乳幼児にかかわる人を対象に、[こどもの城] 子育て支援講習会「心とからだの健康0.1.2歳児〜小児保健の基礎と実際〜」が6月25日に行われました。0.1.2歳は発達の上でどういう時期か、[こどもの城] の子育て広場「赤ちゃんサロン」の実践報告、食べることの発達を理解しながら、遊び食い・好き嫌いなどにどう対応するか、発達や親子関係が気になる場合のかかわり方についてなど、[こどもの城] のスタッフが講義を行いました。

こどもの城となかまたち
参加24 児童館が決まる
平成23年度「全国児童館おりがみ作品展」の参加申し込みが6月30日に締め切られました。全国から多数の申し込みがありました。が、選考の結果、立体8館、壁面14館、写真2館に願ひすることになりました。
夏休みなどを利用して、児童館・児童センターなどに遊びに来る子どもたちに、力をあわせて作品作りに取り組んでもらいます。できあがった作品は、[こどもの城] で開催する「全国児童館おりがみ作品展」(10月29日～11月20日)で展示したのち、平成24年6月まで全国各地で巡回展を開催します。
今回の作品展のテーマは〈宇宙〉。未知のことが多い宇宙は、私たちに夢や希望をあ



全国児童館おりがみ作品展 (こどもの城)

平成23年度「全国児童館おりがみ作品展〜宇宙〜」参加館
立体作品 □札幌市屯田児童館/福島市野田児童センター/わくわくグランディ科学ランド(栃木県子ども総合科学館)/京都市大塚児童館/京都市久我の杜児童館/奥出雲町三成児童館(鳥根県)/京像ユリックス(福岡県)/キッズランド児童館(鹿児島県)
壁面作品 □札幌市ひのまる児童館/堺市児童館(岩手県)/秋田市すくすく学童クラブ/守谷市北守谷児童センター(茨城県)/ぐんまこどもの国児童館/ふじみ野市立児童センター(埼玉県)/上里町神保原児童館(埼玉県)/香取市山田児童館(千葉県)/川崎市戸手小学校わくわくプラザ/燕市小中川児童館(新潟県)/豊橋市こども未来館(愛知県)/姫路市立北児童センター(兵庫県)/今治市伯方児童館(愛媛県)/宜野湾市立我如古児童館(沖縄県)
写真作品 □札幌市中の島児童館/同新生児童館(順不同)



父の日に親子で“アート皿”を作りました

親子で陶芸を体験する「親子で陶芸体験〜アート皿をつくらう!〜」が、6月19日の「父の日」(午前と午後の2回)に造形スタジオで行われました。6割以上がお父さんとのペア。親子で大小2枚ずつ、計4枚の皿を作りました。

ひものようにした粘土を、平たくした別の色の粘土に乗せ、上からローラーで平らに整えて模様を描く“ぞうがん”技法などを使って皿作り。どんな模様にするかを相談したり、粘土をこねる力強いお父さんを応援する子どもの姿も……。

OB・OG も加わり、ガムランのコンサート

開館以来26年間活動を続け、4月から休講している[こどもの城] の「ガムラン講座」。インドネシア・ジャワ島の民族音楽・ガムランに親しんできました。3月に予定していた、1年間のまとめの発表会が東日本大震災のために延期され、3か月遅れの6月19日に開きました。



受講していた小学1年生から OB・OG までが、久しぶりに集い、ガムランの豊かな響きを感じながら仲間とのアンサンブルを楽しみました。会場からは惜しみない拍手が。



探査機“はやぶさ”のレプリカ来る!

昨年6月に地球に帰還した小惑星探査機『はやぶさ』と『再突入カプセル』『小惑星イトカワ』のレプリカ模型や説明パネル、「小惑星探査機『はやぶさ』の帰還」のビデオ上映が、7月9～18日、4階ロビーに展示され、来館児・者の関心を集めていました。協力: JAXA (宇宙航空研究開発機構)。

ビデオライブラリーの「ミラクルライブラリー②曜日 de サイエンス 月曜日(星や月の科学特集)」(～8月18日)の関連企画として行われた特別プログラム。

“着衣水泳”など、水辺の安全を指導

水辺の安全を学ぶ「It's! ライフセービング」が、夏休みの水遊びシーズンが始まる前の7月18日に、地下2階のプールで、子ども29人、大人2人が参加して、行われました。水辺の標識(安全、注意)や、海辺の危険な生き物についての説明や、けがなどの対処法について講義を聞いたのち、身の回りにあるものを使って浮いてみたり、服を着たまの“着衣水泳”をプールの中で実際に体験しました。協力は、日本ライフセービング協会。



[こどもの城] の七夕まつり
それぞれの願いを短冊に書いて——
[こどもの城] の講座に通う子どもたちの願いごとを書いた短冊や、女性ボランティアが作った七夕飾りをつけた“さき飾り”が、7月1～7日に館内のいろいろな場所に飾られました。
「天までとどけねがいごと」(プレイホール/7月1～7日)では、短冊に願いごとを書いてさきにつるすコーナーの他、織り姫が上手な織り手であったことにちなんで、「親子で“お裁縫”体験!自分の名前を縫ってみよう」が行われ、短冊型の不織布に自分の名前を縫う“お裁縫体験”が行われました。お父さんやお母さんが見守るなか、集中して作品作りに取り組んでいました。
「うたってハッピー〜たなばたスペシャル」(音楽ロビー/7月2・3日)では、子どもたちが星の飾りをつけた“たなばたダンサーズ”に変身。ステージで元気に歌ったり、踊ったりしました。お父さんお母さんも、わが子の晴れ姿に思わず写真をパチパチ撮っていました。

■ 青山劇場 Tel. 03-3797-5678 http://www.aoyama.org/
青山劇場
●PLAYZONE '11 SONG & DANC'N
▽7月8日～8月7日▽10,500円
(問) 0180-993-700
●劇団 EXILE W-IMPACT 「レドクリフ-靴-」
▽8月13～24日▽12,000円
(問) 0570-064-807
●青山太鼓見聞録 伝統の種子、その展開
▽8月26日▽3,500円(当日=4,000円)
(問) 03-3797-5678
●第10回 東京国際和太鼓コンテスト
▽8月27・28日 (問) 03-6910-2345
●劇団 新感線 2011 年夏興行
いのうえ歌舞伎「雷城の七人」
▽9月5日～10月10日▽S席=12,500円、A席=10,500円
(問) 0570-00-3337
青山円形劇場
●劇団 鹿野 夏の女優祭り「岸家の夏」
▽7月28日～8月7日▽4,500円(学生=3,200円)
(問) 03-6804-0064
●ころ
▽8月10～13日▽5,800円(当日=6,000円)
(問) 03-6277-6622
●太鼓見聞録外伝 東京打撃団、技あり!
▽8月25日▽3,000円(当日=3,500円)
(問) 03-3797-5678
●Classical ROLLY Final!!!—最終楽章—
▽8月30日～9月1日▽7,000円
(問) 03-3797-5678